

第25回 新プラトン主義協会大会

日時：2018年9月22日（土）・23日（日）

場所：法政大学 市ヶ谷キャンパス

ボアソナードタワー26階スカイホール

プログラム

第一日目 9月22日（土）

理事会・編集委員会（12：00～12：50）

開会・会長挨拶（13：00～）

研究発表①（13:10～13:55）

ヌース界における「生成」と「完成」

本多慶輝（学習院大学）
司会 伊藤春美（熊本大学）

研究発表②（13:55～14:40）

ベルクソンにおけるプロティノスのロゴス論の影響

持地秀紀（上智大学）
司会 山口義久（宝塚大学）

総会（14:40～15:10）

シンポジウム（15:20～17:40）

「共感」をめぐって——プロティノスとベルクソン——

司会

鶴岡賀雄（南山大学）

提題 共感について——プロティノスにおけるストア派の受容と変容

樋笠勝士（岡山県立大学）

提題 ベルクソンにおける共感概念の美学的発生と展開について

瀧 一郎（大阪教育大学）

提題 ベルクソンの共感概念のアノマリー

杉山直樹（学習院大学）

懇親会（18:00～ ）

第二日目 9月23日(日)

研究発表③ (11:00~11:45)

プラトンにおける流動説——『ティマイオス』と『テアイテトス』を中心に

郷家祐海(慶應義塾大学)
司会 高橋雅人(専修大学)

研究発表④ (11:45~12:30)

「神との類似」について ——ディオニュシオスの $\alpha\phi\omicron\mu\acute{\omega}\omega\sigma\iota\varsigma$ 概念——

袴田 渉(清泉女子大学)
司会 大森正樹(南山大学名誉教授)

(昼食休憩 12:30~13:30)

研究発表⑤ (13:30~14:15)

トマス・アキナスにおける人間精神の自己認識の還帰的構造
——後期新プラトン主義の影響という観点から——

芝元航平(上智大学)
司会 小林 剛(明治学院大学)

研究発表⑥ (14:15~15:00)

ピコ・デラ・ミランドラ『900箇条の提題集』における『原因論』の位置づけ

比留間亮平(東洋英和女学院大学)
司会 伊藤博明(専修大学)

研究発表⑦ (15:10~15:55)

古代末期の救済者論——『トマスによる福音書』を中心に

水落健治(明治学院大学名誉教授)
司会 今 義博(山梨大学名誉教授)

プロティノス・コロキウム (15:55~16:50)

第27論考「魂の諸問題について 第1篇」(IV, 3) 第1-8章

——プロティノス魂論の全体像とその独自性

西村洋平(兵庫県立大学)
司会 田子多津子(秋田大学)

閉会・会長挨拶 (17:00)